



日 中 科技会话

访华篇

2

哈尔滨科学技术大学编

高等教育出版社

日中科技会话

2

(访 华 篇)

哈尔滨科学技术大学日语教研室 编

肇 永 和 主编

高等教育出版社

内 容 提 要

本书共分三册。第一册为旅日篇，第二册为访华篇，第三册为科技交流篇。第二册包括 33 项话题、10 项附录及 4 种索引，可供出国人员、高等院校本科生、研究生、外事工作人员和自修日语的广大读者学习和参考。

本书配有录音磁带，需者请与本出版社联系。

本书责任编辑 尹学义

日中科技会话

2

(访华篇)

哈尔滨科学技术大学日语教研室 编

肇永和 主编

*

高等教育出版社出版

新华书店北京发行所发行

国防工业出版社印刷厂印装

*

开本787×1092 1/32 印张17.125 字数490 000

1990 年 6 月第 1 版 1990 年 6 月第 1 次印刷

印数0001—2,180

ISBN7-04-000889-0/H·115

定价3.80元

《日中科技会話》(訪中篇)

序 文

私と著者・肇永和先生との出会いは、1941年、ハルビン工業大学に入学した時に始まります。以来、4ヶ年同じ寮で生活し、同じ教室で勉強をした仲であり、40数年もの老朋友としてお付き合いを願っております。

肇永和先生は、性格は磊落にして豪放、全く物にこだわらず、私たち日本人と同じ部屋で生活し、日本人にない中国の文化を教えて下さいました。

どのような縁もあり、今回この書を発行するに当り、校正を依頼され、更に序文をとの依頼がありました。

本書の内容は、文法的にも正しく、今の日本の若い人では綴れない美しい文章でまとめられております。また、内容の豊富なことは、先生が如何に日本を研究されているかを示すもので、日本の風俗・習慣・地理・歴史が随所に出ており、その上、先生のお得意な中国の歴史・文学をとりいれられ、この書で学ぶ学生に飽きを与えず、明快に日本語を教えるのにも最適の書と考えます。

この書によって、日本語を学ばれる諸君が、一衣帯水の隣邦日本を理解して下さるものと信じ、これから益々日中友好の橋となってく下さるものと期待して序文とします。

ハルビン工業大学卒業生

大谷 剛

一九八六年七月

编者说明

《日中科技会话》是哈尔滨科学技术大学日语培训部根据多次举办的出国预备人员培训班的教学实践，在教研室领导下集体编写的会话课本，可供出国预备人员、高等院校本科生、研究生、外事工作人员和自修日语的广大读者学习和参考，目的是为训练日语听说能力打下基础。

本书在编写上，注重实用性和实践性、知识性和趣味性相结合。通过日常可能遇到的一些场面，以科技交流为主线，安排会话内容。

《日中科技会话》第二册（访华篇）是《日中科技会话》第一册（旅日篇）的姊妹篇。本册共33项话题，与第一册相同，各项仍由概要、会话、参考译文、注释、相关词语、相关话语等6个部分组成，有的项目作为第7部分，附有相关图表。其中，概要、会话两个部分配有录音磁带，以利读者自我听说训练。需要说明的是，本册各项的注释部分，与第一册相比，在编写上有所不同。即注释内容属于与日本有关的事项或者属于语法解释的条目，用中文注释；属于与中国有关的事项，则是用日文注释的。之所以这样做，一方面，它将便于日本读者更好地了解中国情况；另一方面，对于中国读者来说，通过阅读这部分注释，也可以起到当他遇有向日本朋友介绍中国有关情况的机会时，在语言上提供某些方便的作用。

本册由肇永和主编。韩若兰为副主编。编者是（以姓氏笔画为序）池下清子、李浩然、崔虎雄。本册原稿曾由日本朋友大谷刚先生审阅，提出了许多宝贵的修改意见；日本有

关方面以及前田裕子女士提供了大量参考材料和图表，对此，我们表示衷心感谢。此外，在编写本书过程中，还从国内外许多著作中引用了有关资料。对于这些著作的各位作者，一一表示深切的谢意。

本书完稿后，由北京邮电学院秦旷镐副教授审定。

由于编者水平所限，缺点和错误在所难免，欢迎广大读者批评指正。

1986年4月

目次（目 录）

1	北京空港で（在北京机场）	1
2	歓迎の宴で（在欢迎宴会上）	15
3	プレゼント（贈 礼）	29
4	工場での見聞（工厂见闻）	43
5	農村の発展ぶり（农村新貌）	58
6	青空市場（自由市場）	69
7	ショッピング（买东西）	81
8	母校をたずねて（访问母校）	103
9	答礼 訪問（回 访）	116
10	中国残留の肉親捜し（寻找遗留在中国的亲人）	130
11	恩人と会いに（探望恩人）	140
12	ハルビンの冬（哈尔滨之冬）	151
13	老後の楽しみ（晚年之乐）	165
14	家庭訪問（家庭访问）	178
15	岳麓書院（岳麓书院）	190
16	編 鐘（編 钟）	206
17	オール・スターズと中国女子バレー（世界女排明星联队和 中国女排）	219
18	お正月のはなし（新年漫談）	239
19	端午の節句の由来（端午节的来历）	252
20	節句のおはなし（节日漫談）	262
21	中国の絶景・桂林の旅（中国绝景——桂林之行）	276
22	日の出（日 出）	290
23	万里の長城（万里长城）	305
24	世界第八奇跡（世界第八奇迹）	323
25	高山流水（高山流水）	338

26	三峡风光（三峡风光）	351
27	黄鹤楼の今昔（黄鹤楼的今昔）	359
28	中国の「天下一」（中国的“天下第一”）	378
29	さようなら，昼寝（别了，午睡）	389
30	丸焼きのペキン・ダック（北京烤鸭）	401
31	中日料理の特色くらべ（中日烹调的风味比较）	416
32	また，来たいな，中国に（我还要来中国）	430
33	送別会（告别宴会）	439
附 录		
1	中国各民族名称一覧（中国各民族名称一览表）	447
2	中国の省・自治区・直辖市一覧（中国各省、自治区、直辖市一览表）	450
3	中国科学技術協会学会一覧表（中国科学技术协会学会一览表）	452
4	中国古典時代の暦法（中国古代历法）	457
5	日本の知っておきたい電話番号（日本常用电话号码）	461
6	日本の市外局番一覧表（日本长途自动拨号电话号码一览表）	462
7	日本の列車時刻表の記号一覧（日本列车时刻表符号一览表）	469
8	おもな部首の名称（主要部首名称）	470
9	日本中国友好協会一覧（日中友好协会一览表）	473
10	日中姉妹都市及び県省一覧（中日友好城市及省县一览表）	475
索 引		
1	相关词语・相关话语分类索引	478
	日文索引（假名序）	478
	中文索引（汉语拼音序）	481
2	注释索引	483
	日文索引（假名序）	483

	中文索引 (汉语拼音序)	489
3	相关图表·附录索引.....	492
	日文索引 (假名序)	492
	中文索引 (汉语拼音序)	494
4	事项索引.....	496
	日文索引 (假名序)	496
	中文索引 (汉语拼音序)	518

1 北 京 空 港 で

1.1 概 要

1 9 8 5 年・冬の事です。西安西北電信工程学院に勤めて
いる文学専門家・木村教授が外事係の斉さんと日本語教官室の樊
助教授、それに木村教授の教え子である金生君の3人、京都から来
られる木村教授の夫人・木村周子さんと、黒田真理子助教授を、む
かえに西安から北京にきました。

木村教授夫妻と黒田助教授は、斉さん・樊助教授・金君など3人
のお供で3日間にわたり北京の名勝を観光しました。

北京見物が終ってから、木村教授も、みんなといっしょに西安にも
どり、約1週間ほど西安にとどまってから、夫人といっしょに上海
経由で帰国され、いままでの木村教授の仕事は、黒田真理子助教授が
交替なさるのです。

1.2 会 話

樊：今日はあまり寒くないし、いいお天気ですね。

斉：そうですね。見渡すかぎり晴れわたり、気持がいいですね。北
京空港は西安より、ずっと大きいですね。

木村：昨日のテレビの天気予報では、北京の気温は西安より約セ氏3
度低かったんですけど、そんなに寒さを感じませんね。

金：それは先生の胸が高鳴っている①せいでしょう。もう10分間も
すれば1年ぶりに奥様とお会いになれるんですからね。うれし
さと興奮で、寒さなんか、ふっとんじまったのでしょう。

全体：ハ、ハ、ハ、ハ、ハ……。

木村：金君、わたしをからかったな。みなさん、飛行機が着いたら、
わたしは帽子をかぶり、マスクをかけて人ごみの中にかくれて
いるからね。私が見つかるかどうか……。

斉: あ、爆音が聞こえます。どうやら着陸したらしい。

金: 木村先生、早く帽子をかぶってください。

木村 オーケー②。飛行機から、みんな、おりてきた。ほら、あの赤いオーバーに白いマフラーの中年の女性が家内で、そのそばにいるタマゴ色のパーバリーを着ているのが黒田真理子先生ですよ。

金: わたしたちは、お迎えに行きますから、先生は、ここでお待ちになってください。

木村: そうしよう。

樊: おそれいます。黒田真理子先生ではありませんか。

黒田 はい、黒田真理子です。

樊: わたしたち3人は、西安からお迎えにまいりました。

黒田: ごていねいに、わざわざお出迎えくださって、ありがとうございます。始めまして、どうぞよろしく。

樊: こちらこそ。どうぞ、よろしく。こちらは木村先生の奥さんでしょうか。

木村夫人: わたくしは木村周子と申します。お忙しいのに、わざわざお迎えいただいて、ありがとうございます。木村は来なかったのですか。(樊先生は微笑んでいる) おや、何がおかしいのですか。

樊: ほら、あちらの方をごらんください。

木村夫人: ああら、すこしもわからなかったわ。わたしは、また、あなたは来ていないんだとばかり思って、まさか、ご病気にでも思って心配してたところなの。

木村: 心配させて悪かったね。

黒田: お久しぶりです。木村先生、お元気ですか。

木村: おかげさまで。先生もお元気で。お疲れになったでしょう。さて、ご紹介しましょう。こちらは樊先生、そちらが斉先生、彼は金君です。

樊・斉・金: ようこそ、いらっしゃいませ。

齊: ここで、まず^{にゆうこくてつづ}入国手続きをなさってから^{まちあいしつ}待合室で、お休みに^{やす}なってください。

黒田・木村夫人: はい、わかりました。

(手続きを終えて、待合室で)

黒田: 北京空港も待合室も、とてもよいですね。

齊: どうぞ、おかけください。^{たくそうひん}託送品の^{ひきかえけん}引換券を、わたしにください。

金: 齊先生、わたしに、やらせてください。

齊: 木村教授に^{うかが}伺ったのですが、お二人とも^{ふたり}中国は始めてだそう^{ちゆうごく}ですね。

黒田・木村夫人: ええ、はじめてですの……。

齊: わたしたちは、北京に3日間、とまって、みなさんのお供をして、あちこち見物してから^{けいかく}西安に行く計画なんですが、いかがでしょうか。

黒田: それは、けっこうですこと。でも、みなさんには、ご迷惑を^{めいわく}かけますね。

齊: これは北京滞在^{ペキンたいざいちゆう}中のスケジュールです。どうぞ。

木村夫人: あ、明日は万里の長^{あした}城^{じやうじやう}③で、明後日は故^{あさつて}宮^{こきゆう}④と天壇^{てんだん}⑤ですね。素晴らしいですね。

黒田: 万里の長城は、当代世界八大奇跡^{とうだいせかいはちだいきせき}⑥の一つと、うたわれているそうですが、それを、この目で見れるとは、^{うん}運がいいですこと。

樊: 齊先生は、みなさんの西安見物の日程^{にっけい}を5日間^{いつかかん}とってあります。

木村: 北京と西安のスケジュールは、齊先生とわたしが、いっしょに^{そうだん}相談して決めたんだよ。

黒田: みなさん、いろいろと、ご配慮^{はいりょ}くださって……。

木村夫人: ほんとうに、なんとお礼^{れいもう}申し上げてよいのか……。

齊: どういたしまして。わたしたちは招待者側^{しょうたいしやがた}として、みなさんをもてなすのは当然^{とうぜん}なことです。

金: 荷物を、とってきました。

斉: さあ、行きましょ。車くるまを駐ちゅう車しや場じやうに待たせていますから。

金: このマイクロ・バスです。

樊: さあ、どうぞ。

黒田: 失礼しつれいします。お先さきに。

斉: 運転手うんてんしゆさん、燕京えんきやうホテルに、おねがいします。

運転手: わかりました。

(北京都心部ペキンとしんぶへ赴おもむく途中とちゆうで)

木村: 周子、疲れただらう。寒くないかね。

木村夫人: いいえ、寒くもないし、疲れてもいません。

木村: おじいちゃん、おばあちゃん⑦、みな、お元気で……。

木村夫人: 出しゅつぱつ発はつする前まえに見みに行いったのですけど。お二人とも寒くな
ってから1度も風邪ひとつ、ひかず、とても元気でした。ただ
1日も早く、あなたの京都へのお帰かえりをお待ちかねでしたよ。

木村: 里さとのおかあさんもお元気で……。

木村夫人: ええ、とても元気です。おかあさんといったら毎日カレン
ダーばかり見えていますのよ。来月らいげつの2に4日は母ははの米寿べいじゆ⑧で
すものね。わたしたちが京都に帰かえった日から8日目が母ははの誕
生じやうび日びですものね。

木村: 今年ことしのお母さんかあの誕生日げいだいは盛大いわに祝いわうとしようか。

黒田: それは、お二人ふたりで晩ばんにでも、ゆっくりご相談そうだんなさったら……。

ね、北京の町まちの様子ようすは、なんと、きれいなんでしょうね。

木村夫人: ほんとうにね。街まちは清潔せいけつだし、建物たてものも雄大ゆうだいですね。中国に
は、わたし、前から、ぜひ一度来たかったんですよ。それが
今度実現じつげんされて、ほんとうに、うれしいわ。

樊: ごらんなさい。このあたりは大使館たいしかんの所在地しよざいちです。各国かつこくの大使
館は、みな、ここにあります。ほら、あそこが日本大使館で
す。

黒田: あら、ほんとに……。この街は何なんといひますの。

樊: 日壇路にちだんろです。大使館のすじむかいに日壇にちだん⑨公園こうえんがあります。

斉: この横よこの通りとちが王府井大街ワンフーチンたいがい⑩で、日本の方かたは、この街を北京の

「銀座」と呼んでいます。曲り角のこのビルが、北京ホテルです。

金： 前に見えるのが天安門⑪です。天安門から入ると、中が故宫です。

木村夫人：雄大ですね、天安門は。

斉： そうですとも。ちょっと見ると、天安門は、そんなに高くはなさそうですけど。じつは天安門広場の両側にある人民大会堂⑫と中国歴史博物館・中国革命博物館⑬よりも高いんですよ。

黒田： あ、そうですか。それは建物の全体の配置を考慮したからなのではありませんか。ともかく、どう考えても、いっても、天安門は、この広場にある建物の中での心臓部ですものね。だから、一番高いのは、あたりまえでしょうよ。

斉： 右側の上空に中国の国旗が、ひるがえっているところは新華門です。ここは中華人民共和国の政府のあるところです。

金： まっすぐ行って電報ビルを過ぎると西単、民族文化宮、民族ホテルで、まもなく燕京ホテルに着きます。

木村夫人・黒田： くわしくご説明くださって、ありがとうございます。た。

斉： 燕京ホテルに着きました。おおりください。

1.3 参 考 译 文

在北京机场

概 要

1985年冬、在西安西北电讯工程学院工作的文学专家木村教授同外事干部齐先生、日语教研室的副教授樊先生和木村教授的学生金生等3人一起从西安来到了北京，迎接从京都来的木村教授的夫人木村周子和黒田真理子副教授。

木村教授夫妇和黑田副教授，在齐先生、樊先生和小金的陪同下，用3天时间游览了北京名胜。然后，木村教授也同大家一起返回西安，大约停留1周左右，再同夫人经由上海回国。他的工作，由黑田副教授接替。

会 话

樊：今天是个好天，也不太冷。

齐：是啊，晴空万里，精神愉快啊！北京机场比西安机场要大得多啊！

木村：昨天看电视的时候，听了天气预报。看来，北京的气温要比西安大约低3摄氏度。可是，一点儿也没觉得冷。

金：这大概是同老师的心情有关吧！再有10几分钟就要同分别将近一年的夫人见面了。大概是这种欢快和激动的心情驱除了寒意的吧！

全体：哈、哈、哈……。

木村：小金，竟和我开起玩笑来了啊！各位，在飞机降落的时候，我戴上口罩和帽子，藏在人群里边，看她能不能认出我来……。

齐：听……。飞机的轰鸣声，好象就要降落了。

金：木村先生，请快戴上帽子……。

木村：好的。噢，他们已经下了飞机走过来了。请看，那个穿着红色外套、围着白围巾的中年妇女就是我的妻子，在她旁边的那位身穿米色风衣的就是黑田真理子先生。

金：我们前去迎接，您就站在这里等候吧。

木村：好的。

樊：对不起，您是黑田真理子先生吗？

黑田：是的，我是黑田真理子。

樊：我们3个人是从西安来迎接你们的。

黑田：专程来迎，太感谢了。初次见面，请多关照。

樊：请您多关照。这位就是木村夫人吧。

木村夫人：我叫木村周子。谢谢你们在百忙中特意前来迎接。木村没有来吗？（樊先生在微笑）您笑什么？

樊：啊，请往那边看。

木村夫人：唉呀呀，认不出你来了！我以为你没有来呢。吓了我一跳，担心是不是生病了，……

木村：对不起，让你受惊了。

黑田：好久不见了，木村先生，您好！

木村：您好！一路辛苦了。我来介绍一下。这位是樊先生，这位是齐先生，他是小金。

樊·齐·金：欢迎你们（的到来）。

齐：请在这儿先办理入境手续，然后到候机室休息一下吧。

黑田·木村夫人：好的，知道了。

（办完入境手续，来到候机室）

黑田：机场和候机室都很壮观啊！

齐：请到这边坐。请把行李托运单交给我。

金：齐先生，交给我办吧。

齐：听木村教授说，二位是初次来中国的吧？

黑田·木村夫人：是的，是第一次来中国。

齐：我们计划在北京停留3天，陪大家玩一玩。然后再去西安，好吗？

黑田：那好极了。给各位添麻烦啦。

齐：这是在京期间的日程表，请。

木村夫人：啊，明天去万里长城，后天去故宫和天坛。好极了。

黑田：听说万里长城被誉为当代世界八大奇迹之一，能够亲眼看到它，太幸运了。

樊：齐先生还为各位安排了西安5日游呢！

木村：北京和西安的观光日程，是齐先生和我一起商量确定的。

黑田：各位替我们想得太周到了。

木村夫人：是啊！真不知该怎样感谢才好。

齐：不必客气！我们是主人，应该热情接待各位朋友。

金：行李取出来了。

齐：我们走吧。车子停在那边的停车场。

金：就是这辆面包车。

樊：请上车吧！

黑田：对不起，我们先上了。

齐：司机同志，请开往燕京饭店。

司机：知道了。

（在前往北京市区的路上）

木村：周子，累了吧？冷吗？

木村夫人：不，不累，也不冷。

木村：二位老人都好吗？

木村夫人：临来之前去看过公公和婆婆，他们都很好。入冬以来没生过病。只是很想念你，希望快些回京都去呢！

木村：外婆也好吗？

木村夫人：很好。她每天在看日历。下月24号是她老人家的米寿佳期。

我们回到京都后的第八天是外婆的生日噢！

木村：今年要隆重地庆祝一下外婆的生日的噢！

黑田：你们二位晚上再细谈吧！请看，北京的市容该有多么美呀！

木村夫人：真是街道整洁，建筑雄伟呀！我向往已久的中国之行，今天终于实现了，实在太高兴了。

樊：请看，这一带是使馆区，各国大使馆都在这里。看，那不就是日本驻华大使馆么！

黑田：啊！是的。这儿是什么路啊！

樊：是日坛路。大使馆的斜对过有个日坛公园。

齐：这条横街是王府井大街。日本朋友把这条街叫做北京的“银座”。街口这座大楼，是北京饭店。

金：前面是天安门。从天安门走进去，里面就是故宫。

木村周子：天安门真雄伟啊！

齐：是啊！看上去天安门并不是显得那么高，但它却比天安门广场两侧的人民大会堂和历史博物馆都要高呢！

黑田：啊，是的。这大概是从建筑群的整体来考虑的。就是说，无论从哪方面来说，天安门都应该在这个建筑群里处于主体地位的，所以应该是最高的吧。

齐：右侧的在上空飘扬着中国国旗的地方，是新华门。这里是中国人民